

公開情報資料

整理番号	2020. 11-3	
研究課題名	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症と好酸球性筋膜炎を合併した3症例の比較検討	
研究期間	2012年5月1日～2020年4月30日	
研究目的	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症は喘息、発熱、好酸球増多を伴う血管炎であり、筋症状は40%の患者に認められる。好酸球性筋膜炎は浮腫、orange peel appearance、groove sign等の特徴的な臨床所見を認める。好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の筋症状について考察を深めることを目的とする。	
研究方法	研究対象範囲	上記期間中に当院にて好酸球性多発血管炎性肉芽腫症と好酸球性筋膜炎を合併した3症例
	利用する情報等	発症様式、治療方法、経過、診断基準に関わる採血結果や有症状部位など
	利用方法	電子カルテより抽出
	他機関への提供	なし
研究責任者	岡山赤十字病院 膠原病・リウマチ内科 小山芳伸 皮膚科 妹尾明美	
問合せ先	岡山赤十字病院ホームページの[お問い合わせ]ボタンからメールにてお問い合わせください。	